

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年8月13日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年8月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【4号機原子炉建屋滞留水移送ポンプ(A)の故障について】 4号機原子炉建屋滞留水移送ポンプ(A)の運転中に漏電により自動停止。 滞留水の移送は、滞留水移送ポンプ(B)に切替えを実施。 今後、滞留水移送ポンプ(A)の取替を予定。</p>	G III
2	<p>【3号機タービン建屋連続ダストモニタの停止について】 3号機タービン建屋連続ダストモニタが変圧器盤の漏電しゃ断器動作により停止。 調査の結果、分電盤と変圧器盤との間の絶縁不良を確認。</p>	G III
3	<p>【ドラム缶仮置き場における油漏れについて】 産業廃棄物管理型最終処分場付近のドラム缶仮置き場にて2カ所の油が混入した水たまりを発見。 漏れていた油は、吸着マットにて処理を実施。 ドラム缶周辺に吸着マットを敷設するとともに流出防止用の土嚢を設置。</p>	G III
4	<p>【多核種除去装置pH計検出器取付け部からの滴下について】 多核種除去装置バッチ処理タンク(2A)のpH計検出器取付け部より系統水の滴下を確認。 滴下した水は、漏えい防止用の袋養生に留まっていた。 pH計検出器の前後弁の閉止により滴下は、停止。</p>	G III